

5 実際の様子

- 1 はじめに
- 2 年間指導計画における単元の位置づけ
- 3 生徒の実態
- 4 単元について
- 5 実際の様子**
- 6 目標の評価
- 7 成果と課題
- 8 今後に向けて

5 実際の様子（本時の授業展開）

	学習活動	活動の詳細
1	はじめのあいさつ	
2	今日の学習の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の活動の流れをホワイトボードで確認をする。 ・ 2年生だけのリハーサルの様子を全体で確認する。
3	目標の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループとしての目標を話し合って設定する。
4	「働くためのきまり」の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拡大した「はたらくためのきまり」を見て確認する。
5	グループごとにお客さんを迎える準備	<ul style="list-style-type: none"> ・ お面屋、かき氷屋の2つのグループに分かれて、商品を並べたり自分の係の確認をしたりする。 ・ 2年生がお客さんと店員に分かれて、お手本を1年生に見せる。
6	1年生をお客さんとして迎え、リハーサルをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつ、チケットをもらう、商品を袋に入れる、商品を渡すなど、接客をする。

5 実際の様子（本時）

3. 目標の設定

学習活動	活動の詳細
1 はじめあいさつ	
2 今日の学習の確認	・本時の活動の流れをホワイトボードで確認する。 ・2年生だけのリハーサルの様子を全体で確認する。
3 目標の設定	・グループとしての目標を話し合っ設定する。 ・指定した「はかなくめのみさき」を見て確認する。
4 目標の発表	
5 グループごとにお客さんを迎える準備	・お座敷、おきか室の2つのグループに分かれて、商品を並べたり自分の席の確認をしたりする。 ・2年生がお客さんと店員に分かれて、お手本を1年生に見せる。
6 1年生をお客さんとして迎え、リハーサルをする。	・あいさつ、チケットをもらう、商品を袋に入れる、商品を渡すなど、接客をする。

中学部分科会 2.4

	活動内容
①	自分が担当するお店を確認をする。
②	グループに分かれて話し合い、グループの目標を設定する。
③	グループ毎に決めた目標を発表する。



5 実際の様子（本時）





夏祭りをしよう
ワークシート

なつまつりを しよう⑥

名前: _____

○今日のめあて

○グループのみんなて、今日の目標を きめましょう。

 あいさつ  かんしゃ  お客さんにわたす  ていねいにわたす など

もくひょう	チェック
←	←

○がんばったことを 書きましょう。

• ←

• ←

• ←

5 実際の様子（本時）

4. 「働くためのきまり」の確認

5 実際の様子（本時の授業展開）

学習活動	活動の詳細
1 はじめのあいさつ	
2 今日の学習の確認	・本時の活動の流れをホワイトボードで確認をする。 ・2年生向けのリハーサルの様子を全体で確認する。
3 目標の設定	・グループとしての目標を話し合っ設定する。
4 「働くためのきまり」の確認	・拡大した「はたらくためのきまり」を見て確認する。
5 進める準備	・「はたらくためのきまり」のグループ分けの準備をする。 ・自分の係の確認をしたりする。 ・2年生がお客さんと店員に分かれて、お手本を1年生に見せる。
6 1年生をお客さんとして迎え、リハーサルをする。	・あいさつ、チケットをもらう、商品を袋に入れる、商品を選ぶなど、接客をする。

中学部分科会 24

働くためのきまり

1 あいさつを自分からします。

○朝 作業室に入るとき 「おはようございます。」
○作業 終了 後 「おつかれさまでした。失礼します。」

2 報告をすすんでします。

○「終わりました。」 ○「機械が壊れました。」
○「失敗しました。」 ○「トイレにいきます。」

3 やり方が分からなかったらすぐに質問します。

○「やり方が分かりません。どうすればいいですか？」

4 時間を守ります。

○決められた時間に作業室に来る。
○出勤 時間 朝「9:40」 昼「13:25」。
○休み時間の後も、仕事時間になったら自分から仕事を始める。

5 作業時間内は一生懸命働きます。

○勝手に休まない。
○おしゃべりに夢中にならない。

6 決められた服装を守ります。

○作業服を着る。（作業 部ごとの決まりにあった服装をする）

7 使った道具は元の場所に、元のように戻します。

1 あいさつを自分からします。

○朝 作業室に入るとき 「おはようございます。」
○作業 終了 後 「おつかれさまでした。失礼します。」

2 報告をすすんでします。

○「終わりました。」 ○「機械が壊れました。」
○「失敗しました。」 ○「トイレにいきます。」

3 やり方が分からなかったらすぐに質問します。

○「やり方が分かりません。どうすればいいですか？」

5 実際の様子（本時）

6.リハーサル

5 実際の様子（本時の授業展開）

学習活動	活動の詳細
1 はじめのあいさつ	
2 今日の学習の確認	・本時の活動の流れをホワイトボードで確認をする。 ・2年生だけのリハーサルの様子全体を確認する。
3 目標の設定	・グループとしての目標を話し合ってから設定する。
4 「働くためのさまり」の確認	・拡大した「働くためのさまり」を見て確認する。
5 グループごとにお客さんをおもてなし	・お座敷、かき氷屋の2つのグループに分かれて、商品を並べたり自分の係の確認をし終える。 ・2年生がお客さんと店員に分かれて、お客さんを1年生に見せる。
6 1年生をお客さんとして迎え、リハーサルをする。	・あいさつ、チケットをもらう、商品を袋に入れる、商品を選ぶなど、接客をする。

中学部分科会 24

	活動内容
①	2年生同士でのリハーサル
②	動きの確認
③	2年生と1年生でリハーサル



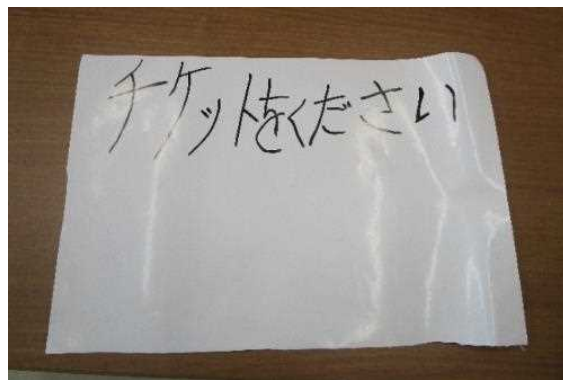
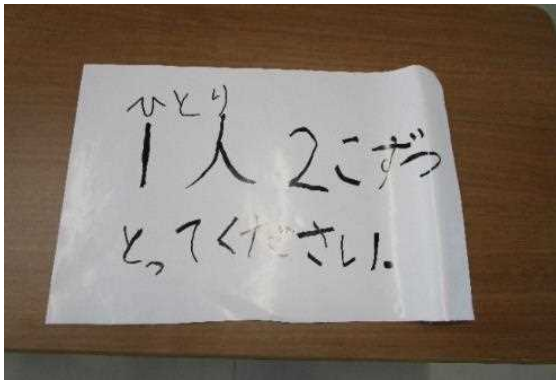
2年生同士で練習している様子



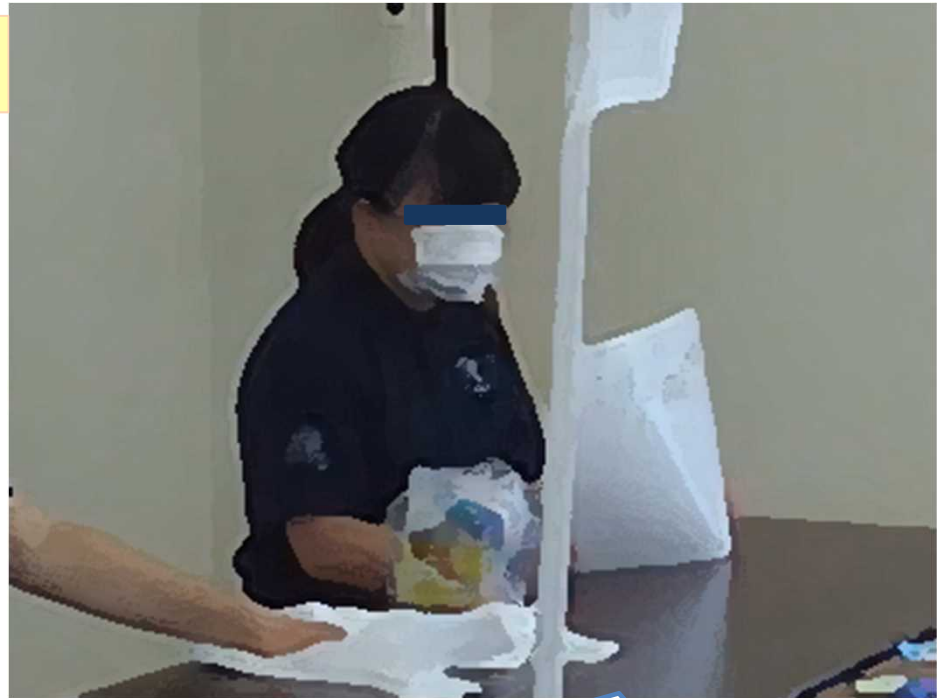
1年生と練習をしている様子

5 実際の様子

コメントシートを使って対応するkさん



接客用コメントシート



「チケットをください」のコメントシートを提示

5 実際の様子

リーダーシップを発揮できるようになったhさん

「またお越しく下さい！」と言ったら？



ありがとうございました！



6 目標の評価

- 1 はじめに
- 2 年間指導計画における単元の位置づけ
- 3 生徒の実態
- 4 単元について
- 5 実際の様子
- 6 目標の評価**
- 7 成果と課題
- 8 今後に向けて

6 目標の評価（個人）

評価は○と△の2段階評価

	生徒	本時の個人目標	評価
かき氷屋さん	h	商品を渡し、感謝の言葉言うことができる。 (職業, 中1, A-ア- (ウ))	両手で袋を渡せていた。 「ありがとうございました。」も大きな声ではっきり と言うことができた。 ○
	k	場の状況を把握して、必要な道具の準備を することができる。 (職業, 中1, A-ア- (イ))	始めのうちは促されて準備をしていたが、繰り返す うちに、状況を判断して商品の補充ができていた。 ○
	j	あいさつや決まった文を、適切なタイミングで 言うことができる。 (生活, 小3, カ- (イ))	促されて言うことができた。 様子を見て自発的にあいさつをすることは難しい。 △
お面屋さん	g	丁寧に、商品を袋に入れて、次の係に渡すこと ができる。 (職業, 中1, A-ア- (イ))	次の係に、「○○さん、おねがいします。」と言葉を 言いながら商品を渡すことができた。 しかし、手先を見ながら袋に入れることが難しく、巧 緻性・視線の集中の問題があげられる。 △
	i	商品を渡し、感謝の言葉言うことができる。 (職業, 中1, A-ア- (ウ))	お客さんに対し、両手で商品を渡し、接客をする ことができた。また、笑顔で「ありがとうございました。 」と言うことができた。 ○
	l	適切なタイミングで、お客さんに言葉かけをし たりチケットを受け取ったりすることができる。 (生活, 小3, カ- (イ))	お客さんが来たことに気がつく、チケットを受け 取ったり、プラカードを使って言葉かけをする ことができた。 ○

6 目標の評価（個人）



中学部分科会 35

生徒	本時の個人目標	評価	(○と△の2段階評価)
h	商品を渡し、感謝の言葉言うことができる。 (職業分野, 中1, A-ア- (ウ))	両手で袋を渡せていた。「ありがとうございました。」も大きな声ではっきりと言うことができた。	○

6 目標の評価（個人）



中学部分科会 36

生徒	本時の個人目標	評価 <small>(○と△の2段階評価)</small>	
k	場の状況を把握して、必要な道具の準備をすることができる。（職業分野，中1，A-ア-（イ））	始めのうちは促されて準備をしていたが，繰り返すうちに，状況を判断して商品の補充ができていた。	○

6 目標の評価（単元全体）

* 来場者に喜んでもらえるものは何かを自分たちで考え、活動に取り組む。

- ・ 準備段階→ お客さんを迎えることを意識して取り組む姿。
- ・ 活動の振り返り→ 接客するときに必要なことを考える姿。

* グループの友だちと協力して、仕事に取り組む。

- ・ グループの一員としての役割を理解して取り組む姿。
- ・ 友達の様子を見て、自分のすべきことを考え取り組む姿。

7 成果と課題

- 1 はじめに
- 2 年間指導計画における単元の位置づけ
- 3 生徒の実態
- 4 単元について
- 5 実際の様子
- 6 目標の評価
- 7 成果と課題**
- 8 今後に向けて

○成果

- ・生徒の資質・能力の育成に向けての工夫ができたこと
- ・生徒が主体的に活動するための工夫ができたこと

○課題

- ・教師の支援方法を再考・工夫
- ・働くことへの意識の育成

【取り扱う
教科の変更】

美術と国語
↓
社会と職業

夏祭りをしよう

今日のめあて

グループ目標

目標	チェック

ふりがまり

毎時間のワークシート

【グループ活動】

話し合い



役割決め・目標・
振り返り

【毎時間の目標設定】

難しかったことや
がんばりたいこと



目標が明確に。
グループの一員と
しての意識付け

【活動への意識】

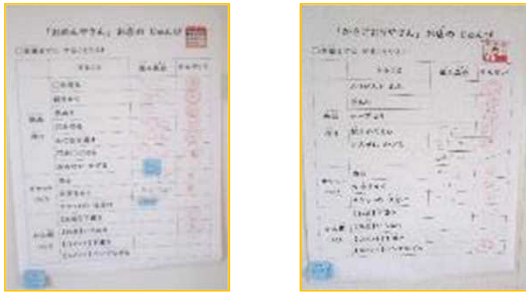


- ・商品制作のための
インタビュー
- ・チラシ・チケット配布

お客さんを意識◎
販売するための工夫◎

7 成果と課題（単元を通して）

【チェックリストの作成】



状況が目に見えることで
達成感・やる気↑

【タブレット端末の利用】

検索したい気持ち↑



ローマ字表を持ち歩く

【生徒が主体的に活動するための工夫】

【リハーサル→本番】

丁寧な手順確認



主体的な行動↑

【昨年経験した活動】

活動への見通し◎



想像しやすい
取り組みやすい

自分の役割を意識↑

【特別教室の利用】

屋台の準備～本番



屋台という場の設定

お客さんを招く
という雰囲気

7 成果と課題（単元を通して）

【支援方法の再考・工夫】

【夏祭り本番】

接客時のお客さんへの意識
= やや低

接客カードを提示する
タイミングのずれ。



職員の支援方法

【働くことへの意識】

【単元全体を通して】
活動内容・自分の役割
としては理解

→自分で考える◎

協力◎



「働く」という職業的な意識を
持つには至っていない。

8 今後に向けて

- 1 はじめに
- 2 年間指導計画における単元の位置づけ
- 3 児童生徒の実態
- 4 単元について（構想・指導案から）
- 5 実際の様子
- 6 目標の評価
- 7 成果と課題
- 8 今後に向けて**

①カリキュラムマネジメントについて

- ・小学部からのつながりをもった授業設定
- ・一人一人にあった
目標設定

②グループ活動について

- ・グループの一員であるという意識
- ・友だちの様子から、「自分がすべきこと」を考えること

8 今後に向けて

①カリキュラムマネジメントについて

単元を通して目標達成



次年度の単元設定の
仕方の工夫

「夏祭りを楽しもう」単元で、目標や活動内容等をさらに発展させて設定する方法

「夏祭りを楽しもう」単元で、今回とは違う教科目標で設定する方法

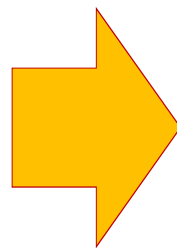
違う単元だが、今回と同じ教科目標で設定する方法

8 今後に向けて

②グループ活動について

役割分担

準備やリハーサルから
グループ活動



他者意識 ↑

観察学習・模倣学習の
機会 ↑

次のステップとして

グループ内での役割交代
= 様々な経験



- ・自己発見，意思決定の機会
- ・思いやりや助け合いの心情